

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	草木染による地域づくり事業
事業主体 (連絡先)	信濃大町草木染め研究会 (大町市大町3302 NPO 地域づくり工房)
事業区分	オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興
事業タイプ	(3) 教育、文化の振興に関する事業
総事業費	575,912円 (うち支援金: 420,000円)

### 事業内容

農具川のアヤメにはじまり、りんご、藍等地元の草木・花の染色、又中山高原のそばに着目し、名産品であるそばの花・葉・茎を染色に活用し、PR。講習会、展示会を開催し、消費者のニーズに合う商品化をめざす。

#### 講習会：講師、内容（以下の通り）

麻績村地域おこし協力隊 田中美沙氏、草木染体験 田中直染料店 高橋誠一郎氏、花びら染め講習会 わちがい 渡邊充子氏の、展示方法と商品アドバイス NPO 日本ファイバーリサイクル推進協会 木田豊氏、リクチュール講習会

展示会：農具川岸周辺、中山高原、わちがい、信濃大町草木染め研究会講習会場にて開催



#### 【和紙への花びら染め】

#### 【目標・ねらい】

- ① 染色技術の向上
- ② 消費者にニーズに合う商品化
- ③ 地域資源を生かし、付加価値をつけて、体験学習等も行い、誘客、活性化につなげる

#### ※自己評価【B】

#### 【理由】

課題として、花染めの技術向上や和紙商品を作ることと、リクチュールとのコラボがあげられる

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

地元和紙への花びら染めが、木崎湖灯篭流しに使われ、伝統工芸品商品化のきっかけ作りとなった。

子どもからお年寄りまで、体験により喜んでもらえた。

環境にも配慮して、地域資源をいかす、リクチュールとのコラボについて学ぶことができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域の歴史に学び、地域資源を生かすべく、リクチュールとのコラボも進める。地域での展示会、講習会を充実させることにより、楽しみながら、仕事おこしにもつなげる。花びら染めの技術向上、商品開拓、販売方法について研鑽し、ステップアップを目指す。カフェやイベントなどで、地場産品とともに、周知しながら広めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある